



12～14日の3日間、米国ボストンで Seafood Expo North America 2023 が開催された。当漁協も、ジェトロが主催する「ジャパンパピロン」に出展。海外で初の試みとなる「養ブリ」のプロモーションを行った。

(6・7面に関連記事)



激励に來られた鈴木光太郎ボストン総領事(左から5人目)を囲む本県の参加メンバー

ボストン・シーフード・ショー
 県漁協が初出展・養ブリPR

「産地加工により収益を上げることが漁業者にとっても漁協にとっても大切」、「現行の施設では捌ききれない需要があり人手も足りず、第2工場の整備は必要」といった意見が出された。挙手による採決の結果、議決権総数2103、賛成1946(92.5%)で承認可決した。

県南第2加工場設置を承認

令和4年度 臨時総会 開催



23日、県水産会館5階研修室で4年度の臨時総会を開催し、県南地域において第2の加工場を設置することを決めた。新たな「水産物加工処理施設」については、昨年6月30日開催の4年度通常総会において、建設に向けた実施設計が承認された。これにより、本年度は調査、設計、積算等の作業を進め実施設計書を作成。行政庁への計画説明と予算要望を行った結果、5年度における本工事の実施が確実となった。

本来であれば、5年度通常総会に上程する事業計画議案の承認をもつて事業に着手すべきだが、完成までに長い工期を要することから、6月末と想定される通常総会の前に事業に着手する必要が生じた。このため、今年度の臨時総会を開催し、組合員の承認を求めたもの。

23日現在の正組合員数2656名中出席2127名(内、書面議決による出席2114名)により臨時総会は成立。中根組合長の挨拶、来賓紹介ののち、蒲江支店所属の茅野眞一氏を議長に選出し議事に入った。

事務局から実施設計に基づく事業の詳細を説明し、質疑を行った。出席した組合員からは「産地加工により収益を上げることが漁業者にとっても漁協にとっても大切」、「現行の施設では捌ききれない需要があり人手も足りず、第2工場の整備は必要」といった意見が出された。

挙手による採決の結果、議決権総数2103、賛成1946(92.5%)で承認可決した。

JF大分

水産おおいた

発行元
 大分県漁協

<http://www.if-oita.or.jp/>

- 2面
 県漁業学校
 修了証授与
 県、漁業士
 3名を認定
- 3面
 資源管理で
 協定、休漁
- 4面
 水研だより

- 5面
 岬ガザミの
 収穫を体験



- 6～7面
 ボストンで
 求評・商談



- 8面
 人事異動
 理事会開催



完成予想鳥瞰図

なお、臨時総会の前に寄せられた組合員の声「収支計画を確実に実行し、組合員に迷惑を掛けない運営に務めるべき」に対する

「厳格に対応する」旨回答したことを紹介した。議案説明書に記載した事業の概要は次のとおり。

事業概要	事業実施主体	大分県漁業協同組合	目標処理能力	ブリ類中心に50万尾/年
	設置場所	佐伯市蒲江大字畑野浦 1-7	事業費	約21億9千万円(税別)
	設置規模	総面積 2,301.67㎡ (一部3階建)	負担区分	国 3/6、県・市・漁協各 1/6
	主な整備内容	建屋、加工設備、包装機、ラベル機、冷蔵庫・冷凍庫、急速冷凍機、製水機、浄化槽、フォークリフト他		

本年度の大分県漁業学校は全てのカリキュラムを修了し、16日に県水産会館で修了式を執り行った。国見支店の江本翔哉さん(小型定置・潜水)、武蔵支店の藤川喬平さん(ローラーこち網)、別府支店の豊島勉さん(刺網・採介藻)、上入津支店の富高皓聖さん(ハマチ類養殖)の4名に中根組合長から修了証書を授与した。



(左から) 豊島さん、江本さん、中根組合長、藤川さん、富高さん

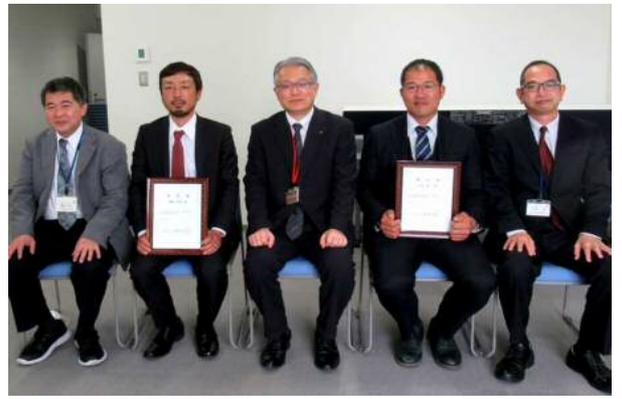
大分県漁業学校

修了証授与

【中根組合長の激励の言葉】
私が二十歳で漁業を始めた時よりも、今は漁業が厳しい状況だとする研修を実施するもの。1年間のカリキュラムは、漁業基礎知識研修(漁業座学・陸上実習)が140時間、漁労実習は1060時間に及ぶ。
式で中根組合長は先輩漁業者として、皆さんが漁協を引っ張っていくつもりで頑張ってくださいと激励した。
漁業学校を修了し一定の要件を満たす人には、大分県青年就業準備給付金の支給もあることから、4人には浜の新戦力として頑張っていたください。

思う。設備等はかなり進んでいるが、それに頼らずに自分の想いを常に持つてやっけていってもらいたい。父親や他の人いろいろな意見を言われてうるさく感じる時もあると思うが、聞いた方が良い。ノートに控えたりして常に頭に入れて仕事をするのが、漁業が栄える一番の方法ではないかと思う。
努力をすることで夢は叶うと思う。私は夢を見るのではなく、自分の力で努力して漁業者の中でトップになるという想いでやってきた。皆さんは若いので、そういう想いで頑張っていたください。
ぜひ、皆さんの漁業で漁協を引っ張って行くというつもりで頑張ってください。よろしくお願ひします。

(左から) 渡邊課長補佐、榑崎青年漁業士、高野審議監、宮本指導漁業士、大屋課長



県、漁業士3名を認定

県・県漁協と連携し施策の推進を

県は24日、県庁舎本館において漁業士認定証授与式を開催した。本年度は、県漁協所属の上田拓郎さん(姫島支店・刺網、潜水)、榑崎裕也さん(下入津支店・魚類養殖)の2名が青年漁業士に、また、宮本新一さん(佐伯支店・貝類養殖、潜水)が指導漁業士に認定された。

県農林水産部の高野英利審議監は「後継者の指導や漁村活性化のために活躍されることを期待するとともに、中核的漁業者として自覚を持ち、施策の提言や県・県漁協等と連携して施策の推進にご協力いただきたい」と激励した。認定者を代表し榑崎青年漁業士が「漁業学校を始めとする機会を与えていただき心から感謝申し上げます。これからも先輩方のご指導を仰ぎ、お互いに連携をとりながら一致団結し、地域水産業の発展のため、精一杯努力することを誓います」と決意を表明した。

漁業士の認定は、後継者の資質向上と自立意欲向上を目的に、国の事業として昭和61年度から実施されている。県はこれまでに地域漁業の核となる青年漁業士181名、青年漁業士等に指導助言できる指導漁業士122名を認定している。



決意表明する榑崎青年漁業士



認定証を受ける宮本指導漁業士

県人事異動内示
全国豊かな海づくり大会推進室長に
高田淳史氏

県は17日、4月1日付の人事異動を内示した。今回の異動は、4月9日に知事選を控えているため、必要最小限の156人となる。なお、退職者は196人、新規採用は217人。
水産関係では、4月1日付で「全国豊かな海づくり大会推進室」が設置され、室長に高田淳史氏(漁業管理課団体系流通課長補佐(総括))が昇任する。推進室の陣容は次のとおり。

- 室長 高田淳史
- 総務企画班
- 主幹(総括) 上田修作
 - 主査 松田康平
 - 主査 三代和樹
 - 主事 合田凜太郎
 - 主事 倉永大暉
 - 主事 高倉樺梨
- 事業推進班
- 主幹(総括) 安樂康宏
 - 副主幹 北崎寛崇
 - 主任 安部洋平
 - 主任 矢野祐志
 - 主任 甲斐桑梓
 - 技師 後藤直登



本年も協定締結へ

まあじ・まさばの資源管理

20日、臼杵市において「佐賀関一本釣り
と臼津まき網漁業との調整会議」が開催され、例年どおり協定を結ぶことで合意した。



②マアジ・マサバ卵の出現状況
2022年はマアジ、マサバともに卵稚仔の出現量が少ない。
2021年はマアジ、サバ類ともに卵と仔魚の出現が多かった。特にサバ類は他海域からの流入が多かった可能性。

①マアジ・マサバの漁獲動向等
マアジ：太平洋系群の資源は減少傾向
マサバ：太平洋系群の資源は増加傾向だが、西日本では漁獲が少ない。
近年、まき網では冬季にマアジ・マサバが多く漁獲される傾向に。原因は明らかではない。

冒頭、県漁業管理課の倉橋賢二郎参事が、豊後水道北部海域における円満な操業が確保されていることに謝辞を述べ、マアジ、マサバの不漁と原油高騰などが相まって厳しい状況に対し水産業界と行政が一体となり難局に対応すべきと挨拶。
次いで県水産研究部の和田宗一郎研究員に調査中間報告をいただき、関係漁業者等との質疑応答を行った結果、例年どおり協定を結ぶことで合意した。
27日までに双方の休漁日が提出され、月末には協定が結ばれる運びとなった。休漁日は、一本釣りが5月2日、30日、6月26日、まき網が5月3日、19日、6月17日。

水産研究部の4年度調査結果の概要は以下のとおり。



③マアジ資源解析の試み
2022年はマアジの資源量が過去最低水準
2歳魚(250g前後)の漁獲圧が特に高かった。

④今後の調査について
継続：卵稚仔の発生状況、マアジの産卵期調査、マアジの資源解析
新規1：サバ類の資源生態調査産卵期、成長
・太平洋系群由来の成長が遅いサバが加入しているかどうかの確認
・産卵期の確認(豊予海峡の知見が乏しい)
新規2：マアジの経験水温・深度の観測
・マアジが好む水温・水深の把握
・マアジの回遊ルートの推定

令和5年度タチウオ資源回復に伴う自主休漁

- 令和5年5～6月
 - タチウオを目的とする全ての漁業
 - ・関崎と佐田岬を結んだ線より北側
毎週土曜日を休漁とする→8日間
 - ・関崎と佐田岬を結んだ線より南側
毎週土曜日と5月2日(火)、5月3日(水)を休漁とする→10日間
 - タチウオを目的とする小型機船底びき網及びはえなわ漁業
5月11日(木)から5月16日(火)を休漁とする
- 上記1以外の期間(令和5年4月、令和5年7月～令和6年3月)
 - タチウオを目的とする釣り漁業
 - ・7、8月の毎週土曜日、それ以外の期間は毎月第2土曜日を休漁とする(※休漁時間は土曜日の0時から24時とする。)
 - タチウオを目的とする小型機船底びき網及びはえなわ漁業
 - ・毎週土曜日を休漁とする



タチウオ漁業者検討会を開催

11日の第2土曜日、県水産会館において令和4年度大分県タチウオ漁業者検討会を開催した。
県水産振興課から協議経過等について、水産研究部から資源調査結果等について報告し、本年度の資源管理措置について検討した。漁業者からは現場の切実な意見が出された。今後ステークホルダー(会合等)に意見を反映することを考えると、各地区ごとに責任ある提案としてまとめる必要がある。
大分県漁協として決定した「令和5年度タチウオ資源回復に伴う自主休漁」は左のとおり。

水 研 だ よ り

水産研究部本館が新しく生まれ変わりました！

令和4年7月から水産研究部本館の内部大規模改修工事が行われ、令和5年3月に完成しました。

これまでと大きく変わった点は2階にあった6つの部屋の壁が撤去され、ワンフロアの事務室になりました。1階で事務を行っていた管理担当の職員は2階に移り、魚病棟、加工棟など別々の場所で業務を行っていた研究員もこの事務室に移動し、全職員が一堂に会し、業務の効率化が図られるようになりました。

また、施設全体の壁の色も木目調から白を基調としたものになり、部屋全体が明るくなりました。さらに、内装工事に古くて使い勝手が悪かった部屋が利用しやすいものとなり、職員にとって働きやすい職場環境となりました。

また、2階の奥にあった会議室は1階の入口付近に変わり、玄関もバリアフリー化され、視察や研修に来られる高齢者や障がい者の方にも配慮したものとなりました。

なお、トイレもこれまで1階が女性用、2階が男性用と分かれていましたが、1階、2階ともに男性用、女性用トイレが増設され、また1階には多目的トイレも設置され、職員や外来者にとって利便性が向上しました。

令和5年度から新装となった本館で気持ちを新たに、水産関係者のため、さらに研究に邁進してまいります。



2階 ワンフロア



1階 大会議室



1階 玄関



1階 トイレ



大分県

大分海区漁調委

第17回委員会

15日、県水産会館5階研修室において、第17回大分海区漁業調整委員会が開催された。

第1号議案「別府湾南部海域における漁法の制限について」、第2号議案「別府湾南部海域におけるあみ等のまきえを使用する船釣り等の禁止について」、第3号議案「大分県海域におけるあみ等のまきえの使用禁止について」、第4号議案「津久見市無垢島周辺における漁法の制限について」、第5号議案「伊予灘及び豊後水道北部におけるまこがれの採捕の禁止について」並びに第6号議案「豊後水道北部におけるいさきの採捕の禁止について」では、いずれも引き続き委員会指示を発出することに決した。

第7号議案「知事管理漁業の制限措置及び申請期間について」では、許可の有効期限満了に伴う「はえ縄漁業」、「たこつぼ漁業」、「かご漁業」及び「潜水器漁業」について、諮問の内容で問題ない旨を知事に答申した。なお、「たこつぼ漁業」では共第20号の漁場区域が追加された。

第8号議案「漁業権に係る漁場の適切かつ有効な活用に向けた指導について」では、漁業法第90条第2項の規程に基づく報告と、未報告地区や未利用漁業権に対する

漁業権者(県漁協)への指導について、問題ない旨を知事に答申した。

第9号議案「知事管理漁獲可能量の設定について」では、くろまぐろ(小型魚)、くろまぐろ(大型魚)及びびするめいかの令和5管理年度における知事管理漁獲可能量をそれぞれ、3・8トン、6・4トン及び現行水準(目安数量50トン)とする原案に異議ない旨知事あて答申することに決した。なお、現管理年度におけるくろまぐろの漁獲可能量が期中で追加配分され、小型魚は4・9トン、大型魚は7・0トンとなったことが事後報告された。

第10号議案「大分海区漁業調整委員会が保有する個人情報保護等に関する規定の廃止と制定について」では、個人情報保護法の改正に伴う県条例の改廃について説明があり、規定の廃止と制定について了知した。



瀬戸内海広域漁調委

第46回委員会

16日、神戸地方合同庁舎とWEBの併用で、第46回瀬戸内海広域漁業調整委員会が開催された。

太平洋クロマグロの遊漁による採捕及びサワラ瀬戸内海系群の広域資源管理について、いずれも現行を踏襲した委員会指示案が承認され、同日発出された。

その他、トラフグの資源状況等について報告を受けた。

岬ガザミの収穫を体験

春色の豊前海に親子連れの歓声響く

19日、豊後高田市白野の養殖池で「岬ガザミ」の収穫体験が行われ、親子連れらが春のひと時を満喫した。

「岬ガザミ」は県漁協が地域団体商標を出願し登録された豊後高田を代表する水産物。近年水揚げが減少しているため、完全養殖を目指すプロジェクトが開始した。市や県漁協香々地支店等で組織する豊後高田市水産振興養殖事業促進協議会がクラウドファンディングで資金を募り、昨年6月に真玉水産のクルマエビ養殖場に放流して飼

育。今回、資金の支援をいただいた方への返礼として、体験型の収穫が実現した。

晴天に恵まれた当日は、市内外から40世帯、76人が参加。砂の中に隠れるガザミを掘り起こし、強いハサミに気を付けながら465匹を収穫した。放流時には1センチほどであった稚カニの中には、9カ月で20センチに育ったものもいた。当日収穫さ

れたガザミは実績を把握する目的で協議会に渡され、参加者には事前に準備されたガザミがお土産として配られた。地域のブランドを再認識していただく絶好の機会となった。

この収穫体験は、養殖池における歩留を評価する機会にもなったが、行事の前後に収穫したものと池の残存匹数を勘案すると、放流した4万匹の10%程度が生残し、目標は達成したと思われる。

今後はマーケットが求める身質とサイズに育てることがポイントとなりそうだ。豊前海の新たな産業に発展することが期待される。

(豊後高田市公式HPを参考にしました。)



福岡市中央卸売市場の関係者は23日、県漁協を来訪し「鮮魚市場へ長年にわたり安定的に出荷し市民の食生活の向上に貢献した」として中根組合長に福岡市長の感謝状を贈呈した。

3年度における同市場の産地別取扱高では、大分は量で4位、金額で6位。

福岡市長が県漁協に感謝状



浜活プラン優良事例表彰を受賞

10日、全漁連は2022年度浜の活力再生プラン優良事例表彰受賞団体を発表した。津久見

地区地域水産業再生委員会は「水産加工業、流通業など地域の周辺産業に貢献した」として農林中央金庫理事長賞を受賞した。

藻食性のブダイを漁獲し、有効活用して藻場の保全につなげたこと、利用の手段として県立海洋科学高校生が開発した缶詰レシピが「LOCAL FISH・CANグランプリ」で2年連続優秀賞を受賞したこと、また津久見モイカフェスタを開催して地産地消を推進したこと等が評価された。



対米等への輸出の端緒をつかむ目的で、世界三大水産物展示会であるボストンシーフードショーに出展。来場した多くのバイヤーに対し、大分県産養ブリの求評、商談をおこなった。



パンフを渡し説明(左は現地通訳丸丸さん)

県漁協からは、本庄専務理事、高橋経済事業部長、長野販売課長の3名が、GFPグローバル産地づくり事業を活用して渡米した。また、出展支援のため、県のおおいたブランド推進課で海外流通を担う片野主幹、漁業管理課団体流通班の高田課長補佐と菅沼主任、ジェトロ大分からは加峯係長に同行いただいた。



ブリの刺身と照焼を試食、求評



商談相手とは記録のため撮影

プロモーションは12日から14日までの3日間おこない、米国を中心にメキシコ、ブラジル等の多様な国の輸入・卸売業者や飲食店経営者など73者と商談した。このうち、事前にアポをいただいた方など6件の個別商談にも対応した。この結果、本県の生産現場訪問の約束も取れ、今後の進展が期待される。(このプロモーションの成果については、追って紹介して行きたい。)



関心の高いバイヤーとはブース内でじっくり協議

プロモーションの前後には、ボストン市内の多様な量販店等を視察し、水産物の販売形態や価格等について情報収集した。また、漁港における水揚げや荷捌き、資源管理の考え方について確認した。

COSTCO

- ・米国を中心に世界各地で展開する会員制倉庫型スーパーマーケット
- ・食料品や家電製品など、大量販売による低価格が特徴
- ・地元の水産物(MSC等認証取得)を取り扱う



MARUICHI

- ・日系スーパー
- ・高級住宅街の一角に位置
- ・惣菜やイートインのコーナーも充実
- ・解凍プリのサクを販売

Wegman

- ・ニューヨーク州ロチェスター市に本拠があるスーパーマーケットチェーン
- ・ニューヨークを中心に100店舗以上展開
- ・食料品や惣菜のラインナップが豊富
- ・ハマチの販売はなく、地元の魚を販売



H MART

- ・韓国、中国、日本の食品や生活用品を中心に扱う量販店
- ・ニューヨークで創業し、現在では米国全土、カナダ、英国へ進出
- ・アジア人を中心に人気があり、店内でアジア圏の音楽やテレビ番組を放送
- ・刺身用の冷凍ハマチ、サクを販売

Red's Best

- ・トロール船を所有する水産会社
- ・地産地消を企業理念とし、他国からは購入しない
- ・フィッシャーマンファーストで地元で採れた魚介類を販売



同地区別会社の水揚げ

4.1 人事異動

検討、協議を重ねてきた各海区における店舗の再編及び事務の統合について、23日開催の第11回理事会で承認を得たことを踏まえ、令和5年度の人事異動を実施した。皆さんの一層のご活躍をお願いします。

【本店】

▽総務部 部長兼香々地支店長兼豊後高田・真玉取次店事務取扱(総務部長兼豊後高田・真玉取次店事務取扱)山本幹太、次長付杵築日出統合支店長兼日出・別府支店長(信用事業部審査課長兼日出・別府支店長)上野英志、経営管理課長兼信用事業部審査課長兼大分支店長(総務部経営管理課長兼大分支店長)小西英俊
▽経済事業部 部長(部長兼中津支店長)高橋正興、販売課杵築日出担当(日出共販所業務担当)嶋田昌紘、石掛裕一郎、販売課杵築日出担当臨時(日出共販所臨時)高松遼河、おさかなランドわさだ店副店長(正職員登用)亀井正裕、おさかなランド明野店臨時(おさかなランドOPA店副店長臨時)甲斐康史
【中津支店】
支店長(香々地支店長)江口邦

生

【宇佐支店】

業務部長(日出共販所長)本田秀和、業務課主任(中津支店購買・利用主任)板井和美、総務課専門員(長洲工場長)鳴海福寿、製氷・保管・冷販課主任(長洲工場主任)田中一彦、総務課主任(長洲工場主任)吉松あかね、製氷・保管・冷販課(長洲工場総務担当)矢野奈津李、製氷・保管・冷販課臨時(長洲工場製氷・保管・冷販課臨時)友松裕享

【香々地支店】

購買・販売・会計担当(正職員登用)隈井沙織

【姫島支店】

総務担当嘱託(総務担当専門員)谷勇

【国東市統合支店】

統合支店長兼くにさき・国見支店長(国見支店長代理)井上泰広、統合支店長代理兼武蔵・安岐支店長嘱託(武蔵支店長兼安岐支店長嘱託)花岡敏夫

【国見支店】

総務課長(販売課長)伊藤淳二、販売担当(くにさき支店営業担当)寺川貴史

【くにさき支店】

信用担当係長(武蔵支店販売・購買担当係長)本島伸一、購買・会計担当(信用・共済担当)吉本麻由子、販売・営業店担当

(国見支店販売担当)本田貴士

【武蔵支店】

購買・販売・指導担当(くにさき支店購買・販売担当)大島義明

【安岐支店】

購買・販売・会計担当(正職員登用)門岡恵

【佐賀関支店】

販売課(正職員登用)計野郁生、三宮一郎、藤澤智也

【臼杵支店】

総務課長(総務係長)廣戸聡

【鶴見支店】

支店長代理(信用融資課長)磯部幸二、購買課相談員(購買課長兼製氷課長)早瀬一泰、購買課(正職員登用)末永洋一、販売課嘱託(販売課相談員)田島敏明、製氷課嘱託(製氷課相談員)渡邊清和

【米水津支店】

信用担当(正職員登用)川野晴香

【蒲江地区統合支店】

統合支店長兼蒲江支店長(蒲江支店長)山本君和、統合支店長代理兼上入津・下入津支店長(上入津支店長)小野崇樹

【蒲江支店】

支店長代理(総務課長)甲斐昌彦

【水産物加工処理施設】

業務1課(正職員登用)成松聡、業務2課嘱託(業務2課相談員)庭瀬善生

固定資産の取得を承認 臨時総会の招集を決定

2月24日
第10回理事会

16日の臨時総会(▽1面)に先立ち、2月24日に第10回理事会を開催した。
新たな「水産物加工処理施設」については、昨年6月30日開催の4年度通常総会において建設に向けた実施設計が承認され、本年度は調査、設計、積算等の作業を進め実施設計書を作成。行政庁への計画説明と予算要望を行った結果、5年度における本工事の実施が確定となった。このため、第22事業年度事業計画で当該固定資産を取得することについて承認を受けた。

また、この事業は長い工期を要することから、年度内に竣工させるためには6月末と想定される通常総会の前に事業に着手する必要があるため、組合員の承認を求める臨時総会を開催することについて承認を受けた。

協議・報告事項では、「支店・取次店・工場等の再編に向けた取組方針」の進捗状況、「漁港を利活用した海藻バンクによるブルーカーボン生態系拡大プロジェクト」等について報告した。ここで、稟議等の手順を踏まずに地区運営委員長が市や大学と協定を結んだ事実が取り上げられ、慎重な対応が求められた。

店舗再編に伴う 職制規定の機構を改定

3月23日
第11回理事会

16日、臨時総会終了後に第11回理事会を開催した。

第6回理事会で承認された「支店・取次店・工場等の再編に向けた取組方針」に沿って、各海区で店舗再編及び事務統合に向けた協議が行われた。この結果を踏まえ、令和5年4月1日付で職制規程第15条に基づく機構図の改定を行うことに決した。その内容は次のとおり。

- ① 豊前海区(宇佐支店・長洲工場)の統合に伴う長洲工場の削除
- ② 東国東海区(国東市内4支店)を管轄する【国東市統合支店】の設置
- ③ 別府湾海区(杵築支店・日出支店・日出共販所)を管轄する【杵築日出地区統合支店】の設置及び日出共販所の削除
- ④ 県南海区(旧蒲江町内4支店)を管轄する【蒲江地区統合支店】の設置等



#だって選挙行ったけん!

第20回 統一地方選挙

大分県知事・県議会議員選挙

市長・市町村議会議員選挙

4月9日 日

4月23日 日

投票時間 7:00 ~ 20:00

※時間は投票場所によって異なる場合があります。
 ※投票日に選挙に行けないときは、「期日前投票」ができます。(詳しくは裏面をご覧ください)

私たちが選挙に行く理由!

私たちの未来のためには、私たちが動かさなきゃ! たった一票じゃ結果は変わらない? そんなことはない。みんなが投じた一票が積み重なった先に社会は必ず変化する。ほら、私たちが大分県の主役だよ。私たちに、社会を変える力がある!

私たちの大切なお金の使い道を決めるならちゃんと意味のあることに使って欲しいよね。だから選挙に行って、意思表示するんだ! 住んでいる大分県を、もっともっと素敵にしたいのために。大切なまちと、大切なお金のことも。他人任せでいいはずがない!

若い世代の投票率が上がれば私たちの社会が変わるかもしれない。だって、投票率が上がれば私たちが意識した政策が増えるはずだから! 大分県の未来は私たちが作っていく。投票は私たちが住みやすい社会を作っていく、大事な一歩。

一票に託す想いを届けたい!

自分でお金の使い道を決めたいから!

若い世代の投票率を上げよう!

#だって選挙行ったけん!

選挙に行った自分へのご褒美を #タグをつけて共有しちゃおう!

「選挙に行く」って実は楽しいかも?

投票日が忙しくても **期日前投票** ができます!

「期日前投票制度」とは投票したくても投票日に選挙に行けない人が、告示日の次の日から投票日の前日までの間に投票することができる制度です。

投票日	「期日前投票」が可能な期間	
大分県知事・ 県議会議員選挙 4月9日 日	県知事選挙 3月24日 金 ~ 4月8日 土	県議会議員選挙 4月1日 土 ~ 4月8日 土
市長・市町村 議会議員選挙 4月23日 日	市の選挙 4月17日 日 ~ 4月22日 土	町村の選挙 4月19日 日 ~ 4月22日 土

大分市、別府市、中津市、日田市、津久見市、杵築市、宇佐市 総務科、投票所

※「期日前投票」が可能な時間は原則、8:30~20:00ですが、投票所の場所や開所時間等についてはこちらをご参照ください。

大分県選挙管理委員会・大分県明るい選挙推進協議会



ウオメシ 番外編



ウオメシ 番外編

県漁協に勤めて初となる海外出張に行かせてもらった。コロナ禍で県外にも行けなかった時期を思うと隔世の感がある。アメリカではだれもマスクはせず、夕食会場はどこも大賑わいだ。入国日の時差は14時間あったが、12日からサマータイムになり13時間になる。いよいよ解りにくい上に、外は吹雪。なんで夏時間なんだ? と考えているうちに寝落ちしてしまった。もちろんプロモーションは手応えがあった。成果を記事にできる日が待ち遠しい。

県漁協に勤めて初となる海外出張に行かせてもらった。コロナ禍で県外にも行けなかった時期を思うと隔世の感がある。アメリカではだれもマスクはせず、夕食会場はどこも大賑わいだ。入国日の時差は14時間あったが、12日からサマータイムになり13時間になる。いよいよ解りにくい上に、外は吹雪。なんで夏時間なんだ? と考えているうちに寝落ちしてしまった。もちろんプロモーションは手応えがあった。成果を記事にできる日が待ち遠しい。

編集後記

ボストン出張には、ご当地の紀行が掲載された村上春樹さんの文庫本を持参した。「新鮮な魚貝料理、とくに貝類はお勧めだ。クマモトオイスターとチェリーストーンを推奨する」とし、「大皿にたっぷり注文し、白ワインでいただきたい」と挑発する。

そこで、シーフードショーの会場を探したところ、いずれも大々的にセールスされているのを発見。クマモトオイスターは「ひがた美人」をひと回り小さくした生食用牡蠣で、チェリーストーンはハマグリ様の二枚貝だった。

これはボストンの「かき小屋」で試さねば、とメンバー7人は吹雪の中「海王星牡蠣店 NEPTUNE OYSTER」へ。通りに面したガラス窓に向け「殻むき」が実演され、氷を敷き詰めた大皿に次々と貝が並ぶ。

うまい! 確かに辛口の白ワインとの相性も抜群だ。ただし、とても高いのである。クマモトは3.95ドル、チェリーストーンは2.7ドル。136円で換算したら「ひがた美人」より小さなクマモトは1粒537円。店員さんおすすめのワインは70数ドル。控えめにいただいても2本は空くので、帰国後のカード決済が気にかかる。

海王星の名誉のために記すが、ここがポツタクリなのではない。どこで何を食べても、日本の感覚の3倍は覚悟したほうがいい。昼の軽食3千円、夜は諭吉1枚は常識なのである。